

平成24年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団						
①	指標名	「健康づくりはつらつメンバーの集い」の参加人数			目標値	250人	実績値	293人
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	117.2%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 人)	160	139	204				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・人間ドック受診者等に積極的に働きかけを行い、24年度は784人の新規登録者があり、はつらつメンバーは1985人となった。 ・集いは、東地区3回、中央地区2回、西地区3回の計8回開催。座談会やアンケートを行い、市民ニーズの把握を行った。 ・20～50代にも多く参加してもらったため、すべて土曜、日曜に開催。内1回は託児付きとした。 ・地域の病院や情報発信協力パートナー店との共同企画など、地域との連携を意識して企画した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 24年度は健康づくりはつらつメンバーの新規登録が784名もあり、参加人数についても目標を上回る実績となった。ただし、新規登録者が集いの参加に結びついていない状況については、さらに改善する必要がある。						
二次評価	目標達成を評価する。今後も、健康づくり事業団、健康づくり支援センターが実施してきたポピュレーションアプローチの手法を生かし、地域の方を生かした健康づくり事業の実施と充実を図ること。							
②	指標名	健診事業収入			目標値	68,314千円	実績値	62,311千円
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	91.2%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	53,897	56,853	59,906				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 市補助金削減により、自己負担が増額となり人間ドック受診者の減少が続いたため、受診者を増やすために以下の取組を行った。 ・平成25年1月に事業団の広報紙「健康づくり応援ニュース」に人間ドックの案内記事を掲載し全戸配布した。 ・前年度受診者への勧奨はがきの送付を継続した。 ・1月31日から2月21日まで人間ドック受診者アンケート調査を実施し、受診者の属性及び傾向等を調査した。 ・人間ドック事業の今後の取組等について、市との協議を開始した。 ・受診者サービス向上のため、25年度から従来の栄養相談を特定保健指導資格者による健康相談として充実する。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 人間ドックの補助額の見直しの影響などもあり、目標は達成できなかった。受診者の拡大についてさらに工夫が必要である。						
二次評価	各種健診等の運営体制について、効率的・効果的な運営のための見直しを検討すること。受診者の向上を目指す一方で、人間ドック検査事業については、民間での実施状況をみながら、事業のあり方についても、検討すること。							
③	指標名	研修への参加者の割合			目標値	60.0%	実績値	65.2%
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	108.7%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: %)	33.3	41.7	46.2				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・保険医療機関としての一般外来の医療事務全般の基礎知識を得るための研修を実施し、保険医療機関指定後も専門の職員等を配置せず、職員が対応できる体制とした。 ・公衆衛生学会で、「生活核都市住民を対象とした特定保健指導の効果」の発表を行った。 ・休日等を利用して専門分野の勉強会に参加した者の数は、上記人数に含めていない。 ・今年度より上級救命講習を全職員が3年間で受講完了できるよう、年次計画による取り組みを開始した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 医療事務全般の基礎知識を得るための研修を行うことで、研修への参加割合は目標を達成できた。専門分野の研修は、最新情報の収集など市民サービスの向上につながり、有効であると考えている。						
二次評価	今後も、職員の資質向上、キャリアアップのため、研修計画を作成し、外部研修などを積極的に活用すること。							